

未来のあたりまえをつくる、つなげる、ささえる。

知っていますか？

SDGsと農業の関わり



JGAP/ASIAGAPの7つの取り組み



結びつく SDGsの目標 SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS	2 飢餓をゼロに 	3 すべての人に健康と福祉を 	4 質の高い教育をみんなに 	5 ジェンダー平等を実現しよう 	6 安全な水とトイレを世界中に 	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	8 働きがいも経済成長も
	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 	12 つくる責任 つかう責任 	13 気候変動に具体的な対策を 	14 海の豊かさを守ろう 	15 陸の豊かさも守ろう 	17 パートナーシップで目標を達成しよう 	

取り組み	内容	結びつく SDGs 目標とターゲット
 <p>農場管理</p>	生産工程管理による手順を見える化し、適切な農場管理を行います。	 2.4 持続可能な食料生産システムを確保し、強靱な農業を 実践する。  8.4 世界の消費と生産における資源効率を改善させ 経済成長と環境悪化の分断を図る。
	役割分担を明確にし、働きがいのある職場環境を作ります。技術的なスキル向上のために、作業者に教育の機会を設けます。	 4.4 技術的・職業的スキル、雇用、働きがいのある 人間らしい仕事を増加させる。
	持続可能な農業、環境への負荷、社会のニーズを考慮した農畜産物を提供します。	 12.8 持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに 関する情報と意識を持つようにする。  17.17 効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを 奨励・推進する。
	災害に備えた農業生産に取り組みます。	 13.1 気候災害や自然災害に対する強靱性及び適応力を 強化する。
 <p>食品安全</p>	工程ごとにリスク評価と対策をして、安全な農畜産物の生産を提供します。	 2.1 安全かつ栄養のある食料を十分に得られるようにする。
	水、土、肥料、飼料、農薬、動物用医薬品など使用する資源の安全を確認し、適切な管理を行っています。	 3.9 有害化学物質、大気、水質及び土壌の汚染による 死亡及び疾病の件数を大幅に減少させる。  12.4 人の健康や環境への悪影響を最小化するため、 化学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出を削減する。
 <p>環境保全</p>	農業生産から出る廃棄物の削減、有効利用に取り組みます。	 6.3 汚染の減少、有害な化学物質の放出の最小化、未処理の 排水の割合半減により、水質を改善する。  12.5 廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、 廃棄物の発生を大幅に削減する。
	廃棄物の適切な保管・処理を行い、環境への影響を最小限に抑えます。温室効果ガスの発生抑制や省エネルギーに取り組みます。	 7.3 エネルギー効率の改善率を倍増させる。  13.3 気象変動の緩和、適応、影響軽減及び早期警戒に関する 教育、啓発、人的能力及び制度機能を改善する。
	農業生産が及ぼす生態系への影響を考慮し、生物多様性に配慮した活動に取り組みます。 農業生産で利用する外来生物が生態系を乱さないよう適切に管理します。	 9.4 クリーン技術及び環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大や 産業改善により、持続可能性を向上させる。  14.1 富栄養化など、あらゆる種類の海洋汚染を防止する。  15.1 生態系の保全、回復及び持続可能な利用を確保する。 15.8 外来種の侵入を防止する。
 <p>人権の尊重</p>	人種、国籍、性別などによる雇用や昇給、賃金差別をなくします。	 5.1 あらゆる形態の差別を撤廃する。  8.5 完全かつ生産的な雇用、働きがいのある人間らしい仕事、 同一労働同一賃金を達成する。
	労働者の意思に反した労働を強制しません。	 8.7 強制労働を根絶し、現代の奴隷制、人身売買を終わらせる 措置の実施、児童労働の禁止と撲滅を確保する。
	労働者の働く権利を尊重し、働きがいのある職場環境を作ります。	 8.8 すべての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を 促進する。
 <p>労働安全</p>	作業者が安全に働ける労働環境を作ります。	 3.6 世界の交通事故による死傷者を半減させる。
	作業者が安全に作業できるように、過去に起きた事故事例やヒヤリハットをもとに安全な作業手順を作ります。	 8.8 すべての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を 促進する。
 <p>家畜衛生</p>  <p>アニマルウェルフェア</p>	衛生的な飼育環境で家畜を健康的に育て、安全な畜産物を提供します。	 2.4 持続可能な食料生産システムを確保し、強靱な農業を 実践する。
	家畜に不必要な苦痛を与えないように配慮し、家畜にとって快適な飼育環境を目指します。	 12.8 持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに 関する情報と意識を持つようにする。
		 15.1 生態系の保全、回復及び持続可能な利用を確保する。